

## 令和4年（2022年）の青ヶ島の火山活動

気象庁地震火山部  
火山監視・警報センター

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しました。

### ○噴火警報・予報及び噴火警戒レベルの状況、2022年の発表履歴

2022年中変更なし	噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）
------------	----------------------------

### ○2022年の活動概況

#### ・噴気など表面現象の状況（図1、図2）

手取山監視カメラ及び尾山展望公園監視カメラ（ともに丸山の北北西約1km）による観測では、丸山西斜面に噴気は認められませんでした。また、丸山西斜面とカルデラの西側内壁に引き続き地熱域が認められていますが、特段変化はありません。

#### ・地震や微動の発生状況（図3-①）

青ヶ島付近を震源とする火山性地震は観測されておらず、地震活動は低調に経過しました。火山性微動も観測されていません。

#### ・地殻変動の状況（図3-②、③、図4）

GNSS連続観測及び傾斜観測では、火山活動によるとみられる変動は認められませんでした。



図1 青ヶ島 丸山西斜面の状況（12月20日、手取山監視カメラによる）

この火山活動解説資料は気象庁ホームページでも閲覧することができます。

[https://www.data.jma.go.jp/vois/data/tokyo/STOCK/monthly\\_v-act\\_doc/monthly\\_vact.php](https://www.data.jma.go.jp/vois/data/tokyo/STOCK/monthly_v-act_doc/monthly_vact.php)

本資料で用いる用語の解説については、「気象庁が噴火警報等で用いる用語集」を御覧ください。

<https://www.data.jma.go.jp/vois/data/tokyo/STOCK/kaisetsu/kazanyougo/mokuji.html>

この資料は気象庁のほか、国土地理院、国立研究開発法人防災科学技術研究所及び東京都のデータも利用して作成しています。

資料の地図の作成に当たっては、国土地理院発行の『数値地図25000（行政界・海岸線）』『数値地図50mメッシュ（標高）』を使用しています。

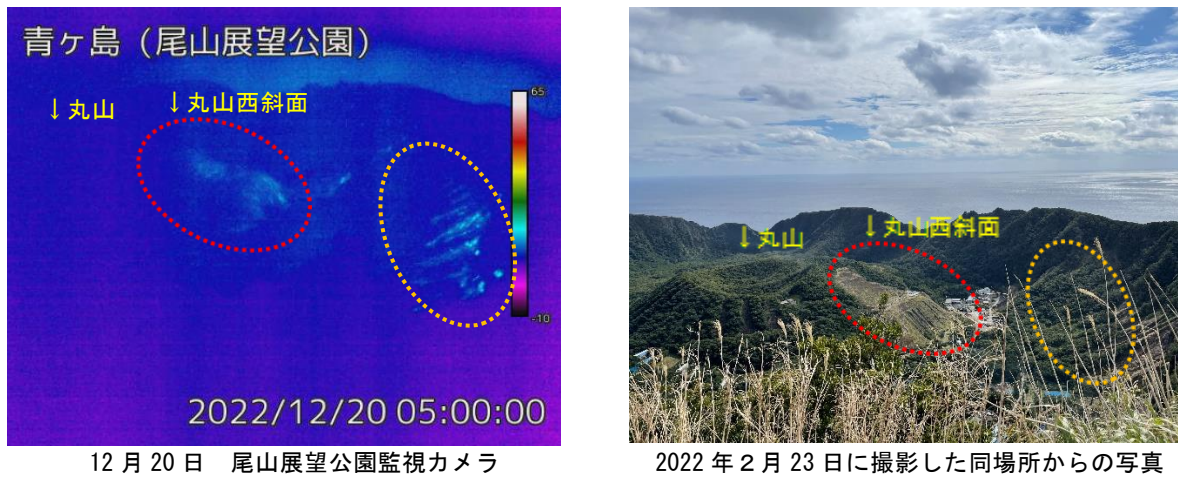


図2 青ヶ島 カルデラ内の地表面温度の状況  
 ・地熱活動（赤点線丸及び黄色点線丸）に変化は認められませんでした。

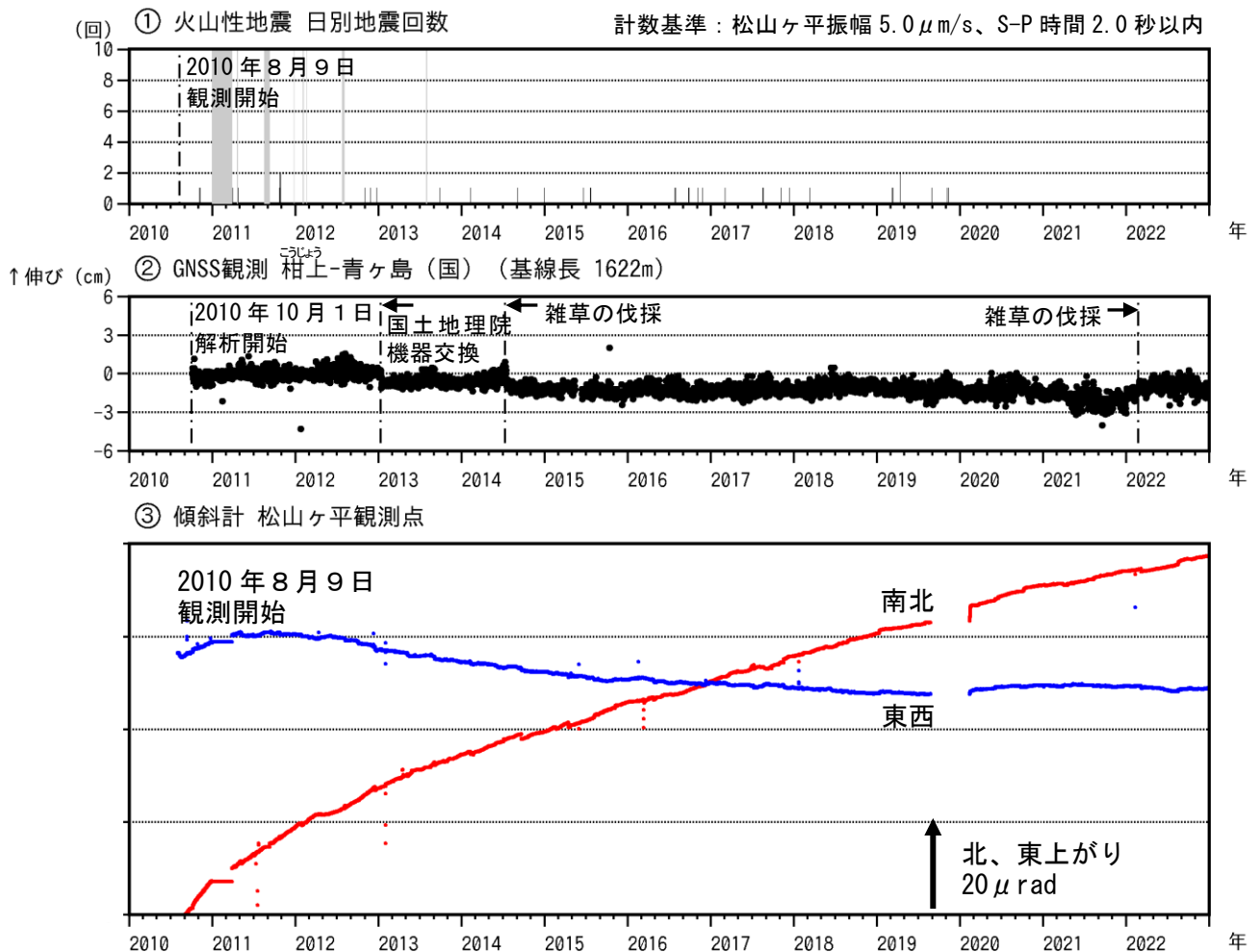


図3 青ヶ島 火山活動経過図（2010年8月9日～2022年12月31日）

- ① グラフの灰色部分は機器障害による欠測。
- ② (国)：国土地理院、図4のGNSS基線②に対応。グラフの空白部分は欠測。
- ③ グラフの空白部分は欠測。



小さな白丸(○)は気象庁、小さな黒丸(●)は気象庁以外の機関の観測点位置を示しています。  
 (国)：国土地理院、(都)：東京都

図4 青ヶ島 観測点配置図  
 GNSS 基線は図3の②に対応しています。

表1 青ヶ島 気象庁の観測点一覧

測器種類	地点名	位置			設置高 (m)	観測開始日	備考
		緯度	経度	標高(m)			
地震計	松山ヶ平	32°28.02′	139°45.64′	273	-82	2010.8.9	
	向沢	32°27.82′	139°45.83′	336	0	2012.7.3	
	丸山南	32°26.92′	139°46.07′	87	-1	2016.12.1	広帯域地震計
傾斜計	松山ヶ平	32°28.02′	139°45.64′	273	-82	2011.4.1	
空振計	松山ヶ平	32°28.02′	139°45.64′	273	2	2010.8.9	
GNSS	柑上	32°26.95′	139°46.00′	94	3	2010.10.1	
監視カメラ	手取山	32°27.67′	139°45.84′	395	4	2010.4.1	
	尾山展望公園	32°27.63′	139°45.78′	393	3	2016.12.1	熱映像